

「語りもんそ」

Vol.40 平成28年 3月25日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪
カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ”

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●1月24日(日)は、堂園さおりさん(クラリネット)と田中美幸さん(ピアノ)お二人の予定でしたが鹿児島県内大雪のため中止になりました。

●2月21日(日)は、徳田さやかさん(チューバ)と庄村茉莉さん(ピアノ)のお二人で、F.シュトラウス作曲“ノクターン7番”、C.サンサーンス作曲“動物の謝肉祭より「象」”、W.A.モーツァルト作曲“ピアノソナタ第7番 ハ長調 kv.309より一楽章”、J.バーンズ作曲“チューバ協奏曲より二楽章

「Lullaby」”、C.ドビュッシー作曲“亜麻色の髪の乙女”、L.ボンファ作曲“黒いオルフェ”、荒井由実作曲“優しさに包まれたなら”、菅野よう子作曲“花は咲く”の8曲とアンコールに“春よ、来い”が演奏されました。



庄村茉莉さん(ピアノ) 徳田さやかさん(チューバ)

〇お客様に感想をお聞きしました

・中島万希さん 鹿児島市
「カフェを楽しみながら間近で生演奏が聴けて大満足です。音を全身で感じることができて感動しました。」

演奏者の思いが音と一緒に伝わってきてとても幸せなひとときでした」

・武 愛莉奈さん 鹿児島市
「ワンオーダーで普段あまりなじみのない楽器の生演奏を聴くことができ、とてもお得なコンサートだと思いました。」

管弦楽や吹奏楽などで低音部を受け持つチューバとピアノの優しい音色にとっても癒されました」



武 愛莉奈さん(左) 中島万希さん(右)

●3月20日(日)は、濱田知聡さん(フルート)と入来慶子さん(ピアノ)のお二人で、モーツァルト作曲“セレナード第13番ト長調K.525 アイネ・クライネ・ナハトムジーク第1楽章”、ドヴォルザーク作曲“ユーモレスク op.101NO.7”、J.S.バッハ作曲“管弦楽組曲第2番 BWV1067より ポロネーズ”、ラヴェル作曲“亡き王女のためのパヴァーヌ”、ベートーヴェン作曲“ヴァイオリンソナタ 第5番ヘ長調 op.24「春」第1楽章”、ピゼー作曲“「アルルの女」よりメヌエット”、アントニオ・カルロス・ジョピン作曲 石川芳編曲“イパネマの娘”、アラン・メンケン作曲“美女と野獣”、ロバート・シャーマン作曲“チム・チム・チェリー”、“春”メドレーとして“春よ来い”、“どこかで春が”、“春が来た”、本多鐵磨作曲“おもいでアルバム”の13曲とアンコールに“千の風になって”が演奏されました。



濱田知聡さん(フルート) 入来慶子さん(ピアノ)

○お客様に感想をお聞きしました

- ・武 美和子さん 鹿児島市
「春の柔らかなテンポから元気な曲になり夏に向けてエネルギーを貰いました。フルートの響きとピアノの流れるような音色、お二人の指先の動きと笑顔がとても素敵でした。演奏曲は全部好きな曲でした」
- ・辻 玲子さん 鹿児島市
「毎月楽しみにしております。素敵なハーモニーに一足早い春を感じさせていただきました」



出演者と 武美和子さん(中央左) 辻玲子さん(中央右)

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

平成27年度宝山ホール自主文化事業

「演劇講座」

～あなたも舞台に出演！～

1月10日 宝山ホール

12月20日から始まった全8回の講座で、10代から60代まで幅広い年代層の初心者から経験者35名の方が受講されています。

2回目となる1月10日は、3月20日の“成果発表公演”に向け受講者全員がシーン練習（小返し）で役を決めるオーディションと作品解釈・演技基礎を学びました。



シーン練習

◎今回の演劇講座にサポートスタッフとして「劇団LOKE」のメンバーが参加してくださいました。



後列左から 原田愛さん 小松蓮さん 江籠平結名さん
前列左から 仮屋園修太さん（講師） 福蘭宏美さん

○受講者にお聞きしました

・森口知帆さん（鹿児島情報高等学校 2年）

「高校で演劇部に所属していますが、演技の基礎知識が自分にはまだ足りないので、演劇の大会等でお世話になっている仮屋園先生に色々なことを指導していただき、部活に持ち帰り部員に指導していただろうと思いき講座を受講しました」

・郡山菜緒さん（鹿児島情報高等学校 2年）

「まだまだ経験が少ないので、仮屋園先生から直接指導を受けることができるこの講座を通して、個人のスキルアップに挑戦してみたかった。

今回の受講は所属している演劇部の活動に役立つと思っています」



郡山菜緒さん

森口知帆さん

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

平成27年度宝山ホール自主文化事業

演劇講座 成果発表会！

3月20日（日）宝山ホール地下1階アート・ギャラリー

平成27年度宝山ホール自主文化事業「演劇講座」で演劇を学ばれた方々の成果発表会を一般公開するもので、初心者から経験者まで一人ひとりが持っている様々な感性に、同講座講師の仮屋園修太氏の演出で、オリジナル作品を2つのグループが異なる演出で演じました。

○受講者に感想をお聞きしました

・吉野空子さん

霧島市

「舞台発表が始まるときは緊張でバクバクでした。」

舞台上に立ったら台詞が早くなったり遅くなったりしているのではないかと不安の中で演技していました。お芝居の中に入っている自分が最後の台詞は本気で言えたと思うことができました。

この講座を通して素晴らしい仲間と出会うことができ、演劇の楽しさを知ることができました」



吉野空子さん

〇お客様に感想をお聞きしました

・森口ゆかりさん 垂水市

「高2の娘が受講生として初めての公演でした。1年前、私の父が亡くなった時と重ねて観てしまいました。父を初めて施設に送り出す日のこと、何ともいえない寂しさと切なさを感じた事を。登場人物の久子さんが『悲しくないはずじゃない!』と、あの台詞はとても重みがあり胸が詰まる思いでした。未だ「死」を受け止められない若年層、しかし家族にとっては何歳になっても家族の死は悲しいに違いない。我々世代にはとても身近な問題として受け止めやすく感動した作品でした。

娘にとっても演技だけでなくとても良い人生勉強ができたことと思い、今後の成長に期待し、関係者の皆さんに感謝したいです」



森口ゆかりさん

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

ミュージカル講座

宝山ホール 取材日 3月18日(金)

公募によるオーディションに合格した32名の方々が、平成29年1月7日(土)に再演される「ヤジロウと海乱鬼」に出演されます。

稽古を取材しました。

① バレエの基礎練習(1時間)



② 役者の基本である表現力を身につけるための、インプロ(即興)トレーニング(2時間)



●伊之口陽葉(あきよ)さん 鹿屋市
「平成27年1月12日の初演を客席で観てとても感動しました。次は自分も舞台上に立ってみたいと思いオーディションを受けました。声を出すのはとても緊張していましたが、稽古を重ねるうちに緊張が楽しみに変わりました」

●濱田真衣さん 鹿屋市
「人と関わることが好きなのでリハビリ関係の専門学校に通っています。舞台を通してお客様と感動という思い出を作りたいです」



伊之口陽葉さん(左) 濱田真衣さん(右)

宝山ホール広報ボランティア 『語いもんそ』編集部
〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行